

NPO & NGO 助成機関の申請書・報告書から学ぶ! 市民活動団体の「情報開示」とは???

特定非営利活動法人の認証を受ける団体は、1998年12月の制度創設以来わずか8年間で、3万に達しようとしています。しかし会費や寄付といった市民からの資金の提供は進んでおらず、その主な原因として「団体から情報開示や発信の不足」が指摘されています。では、「資金提供のプロ」である助成機関（財団や企業など）は、どんな情報を集めて、判断の材料にしているのでしょうか？

この講座では、今秋、日本の主な助成機関（計52機関）について、申請書や報告書の書式を集め、その共通点や相違点などの分析をされたI I H O E [人と組織と地球のための国際研究所]より、その結果を報告していただき、それを基にわたしたち市民活動団体に求められている情報開示のあり方を探っていきます。また、2005年9月にオープンした公益情報ポータルサイト「CANPAN」（運営：日本財団）の紹介も併せて行います。

プログラム：（順序が入れ替わることもあります）

調査報告

* 報告者

川北秀人さん

（I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者）

赤澤清孝さん

（I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所] 客員研究員）

聞き手からの問題提起

意見交換「広島でNPOの情報開示を進めるために」

日本財団が進める団体の情報開示支援とは？

- 日本財団公益コミュニティサイト CANPAN のご紹介 -

* 発題者

荻上健太郎さん（日本財団情報グループ CANPAN チーム）

2006年12月16日(土)
13:30~16:30(予定)
幟会館2F 会議室Cにて
(ひろしまNPOセンターと同じフロアです。)

参加費：（お一人分の金額です。）

ひろしまNPOセンター会員 1,000円 / ひろしまNPOセンター非会員 2,000円

主催： 特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター

共催： I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所]

協力： 日本財団公益コミュニティサイトCANPAN

お問合せ、お申込みにつきましては裏面をご覧ください